

令和2年度

事業報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

公益財団法人都市緑化機構

令和2年度事業報告

はじめに

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言中における外出の自粛、その後も「密」を避ける生活様式の継続が求められ、都市における働き方や住まい方が問い直された中であって、緑の空間の重要性が改めて認識・評価された年であった。また「グリーンインフラ」の取組みの本格化等に伴って、従前にも増して官民連携による緑地の保全・再生、良好な緑化空間の創出、緑化の推進が求められるようになった。

このような動向を受け、都市の緑に関する調査・研究・技術開発や、緑の保全・創出に関わる情報の発信による市民、事業者、地方公共団体等の様々な取組みへの支援、優れた緑化活動を行う団体等の顕彰・助成の実施等により、みどりの「わ」を構築し、みどりに関する国民運動を推進する当機構の諸事業の一層の展開が求められたところである。

このような中、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行催事の一部についてウェブを活用した運営方式による実施、関係機関と調整を図ったうえで延期、中止等の対応を行った。また、国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の達成にも貢献しつつ、人と自然が調和したみどり豊かな都市づくりの実現を目指し、公益財団法人としての運営面の強化を図りながら、事業を実施した。

1 都市緑化に関する普及啓発

(1) 全国都市緑化フェア

国民の緑化意識の高揚を図るため、第37回全国都市緑化ひろしまフェア「ひろしま はなのわ 2020」を、広島市中央公園（旧市民球場跡地を中心とする区域）及びその周辺をメイン会場、国営備北丘陵公園、県立びんご運動公園、県立せら県民公園、県立みよし公園を協賛会場として以下の内容で開催したが、新型コロナウイルス感染症の拡大を抑制するため、各会場で予定していた行催事等の中止や延期などの対応措置を講じながら実施した。

- 主 催 広島県、広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町、公益財団法人都市緑化機構
- 開 催 地 メイン会場：中央公園（旧広島市民球場跡地を中心とする区域）及びその周辺（広島市）
- 協賛会場 国営備北丘陵公園（庄原市）、県立せら県民公園（世羅町）、県立びんご運動公園（尾道市）、県立みよし公園（三次市）

開催期間 令和2年3月19日（木）～11月23日（月・祝）（250日間）

また、フェアにおける普及啓発催事の一環として、緑地の良好な管理運営や都市緑化の推進、緑地の保全に関する各種活動を通じ、緑地の市民開放等による地域社会への貢献等に顕著な功績が認められ全国の範となる企業の取組みを顕彰する、第8回みどりの社会貢献賞の表彰式をフェア閉会式において実施した。受賞した企業、社会貢献活動は以下のとおり。

- ・株式会社ディスコ「広島事業所 桑畑工場」（広島県呉市）
- ・湧永製薬株式会社「湧永満之記念庭園」（広島県安芸高田市）
- ・南海電気鉄道株式会社、株式会社高島屋「なんばパークス パークスガーデン」（大阪府大阪市）

さらに、広島県内において、子どもたちの環境教育に係るプログラム運営に取り組んだ4団体に対し、公益財団法人高原環境財団の協力により活動支援を行った。

（2）全国都市緑化祭

第37回全国都市緑化ひろしまフェアの中心的な行事として開催を予定していた令和2年度全国都市緑化祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。従来は全国都市緑化祭で実施していた庭園出展コンテスト及びみどりの社会貢献賞の表彰については、全国都市緑化フェア閉会式において実施した。

（3）都市緑化キャンペーン及び普及啓発ポスター

市民の都市緑化意識の高揚を目的に、都市緑化推進運動協力会の事務局として毎年10月の都市緑化月間中に開催している都市緑化キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来のイベント形式による開催を中止し、ホームページ、SNS（インスタグラム）を活用したキャンペーン（GREEN PROJECT 2020）を実施し、都市や公園等の緑の空間づくりを推進するSEGES「都市のオアシス」の紹介等の運用を行った。

また、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により、普及啓発ポスター等を作成し、以下のとおり配布、掲載した。

掲載時期 「春季における都市緑化推進運動」（4月1日～6月30日）

「都市緑化月間」（10月1日～10月31日）

配布枚数 各12,000枚

配布先 国、地方公共団体、緑化関係団体、日本商工会議所の会員、
日本民営鉄道協会加盟の私鉄各社等910団体及びその関係団体

(4) スカイフロントフォーラム

特定非営利活動法人屋上開発研究会との共催により、コロナ禍の社会で求められる都市空間やオフィス空間をテーマとして「開放的な都市空間」や「密にならないオフィス」等について考えるためのフォーラム（ウェビナー方式）を開催した。

テ ー マ ～密にならない これからの空間づくり～

日 時 令和3年3月11日（木）14:00～16:00

開催方法 ウェビナー方式

講 演 ・丸の内仲通の取り組み 三菱地所株式会社 中嶋 美年子
・公園の中にあるオフィスとは 東急不動産株式会社 仲神 志保
・オフィス内における取り組み パーカーズ 辻永 岳史

パネルディスカッション

・コーディネーター 株式会社フィールド・フォーデザインオフィス 渡辺 高史
・パネリスト 三菱地所株式会社 中嶋 美年子
東急不動産株式会社 仲神 志保
パーカーズ 辻永 岳史

(5) その他

令和2年度「都市緑化月間」（10月1日～10月31日）をはじめ、国や緑化関係団体等が行う緑化に関する諸行事に対する後援、協賛を行った。

2 都市緑化に関する顕彰・助成

(1) 都市の緑3表彰

1) 緑の都市賞

明日のみどり豊かな都市づくり・まちづくりの推進を目的として、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な実績と成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を顕彰している。

第40回「緑の都市賞」は、審査委員会（令和2年9月30日（水）開催。委員長：樺山 紘一 印刷博物館館長）を経て、以下の9件が受賞した。

第40回緑の都市賞 受賞者一覧

賞	部門	受賞者
内閣総理大臣賞	緑のまちづくり	ガーデンシティえにわ（北海道恵庭市） 恵庭市
国土交通大臣賞	緑の市民協働	緑の文化を生かした心を繋ぐ復興（宮城県岩沼市） 玉浦西まちづくり住民協議会
	緑の事業活動	The Okura Tokyo ランドスケープ（東京都港区） 株式会社ホテルオークラ/葵町特定目的会社/株式会社谷口 建築設計研究所/大成建設株式会社一級建築士事務所
	緑の事業活動	南町田グランベリーパーク（東京都町田市） 東急株式会社/東急電鉄株式会社/町田市
都市緑化機構 会長賞	緑の市民協働	ふる里の山大火災 災害防止、花・木の森へ再生活動 （長野県松本市） NPO 法人浅間温泉木の絆会
	緑の市民協働	不法投棄多発の堂々川を観光地に変えたボランティア （広島県福山市） 堂々川ホタル同好会
	緑の事業活動	横浜ゴム株式会社新城工場「千年の杜」 （愛知県新城市） 横浜ゴム株式会社新城工場
奨励賞	緑の市民協働	海と山と加太プロジェクト～海のための緑化事業～ （和歌山県和歌山市） 加太観光協会
	緑のまちづくり	花と緑のガーデン都市づくり（岩手県盛岡市） 盛岡市

2) 緑の環境プラン大賞

みどり豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等を実現することを目的として、優れたプランを国土交通大臣等によって表彰し、そのプランの実現のための助成を行う第31回「緑の環境プラン大賞」を、一般財団法人第一生命財団との共催により実施した。

第31回「緑の環境プラン大賞」は、審査委員会（令和2年9月17日（木）開催。委員長：進士 五十八 福井県立大学学長）を経て、シンボル・ガーデン部門として以下の3団体に対して約2,400万円（1団体あたり約800万円）、ポケット・ガーデン部門として以下の10団体に対して約1,000万円（1団体あたり約100万円）の助成を決定した。

第 31 回緑の環境プラン大賞 受賞者一覧

●国土交通大臣賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
シンボル・ガーデン	笑顔はぐくむこころの森ガーデン	宮城県 石巻市	特定非営利活動法人 こころの森
ポケット・ガーデン	芝のはらっぱ	東京都 港区	芝のはらっぱ実行委員会

●緑化大賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
シンボル・ガーデン	農家の庭に学ぶ「持続可能な都市ガーデン」	京都府 亀岡市	株式会社ユニマットリック
シンボル・ガーデン	みどりのゆりかご～豊福の生き物と子供たちを育む庭～	熊本県 宇城市	豊福地域・農の未来創造協議会

●コミュニティ大賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
ポケット・ガーデン	地域の遊び場・憩いの場 かけはしパノラマ屋上ガーデン	北海道 帯広市	社会医療法人北斗 十勝自立支援センター 介護老人保健施設かけはし
ポケット・ガーデン	うわのまちつどいのつつじガーデン	栃木県 鹿沼市	有限会社 ウイステリアエステート
ポケット・ガーデン	米山南町会花いっぱい活動	栃木県 佐野市	佐野市米山南町会
ポケット・ガーデン	花園公園レイズドベッドプロジェクト	千葉県 千葉市	NPO 法人 緑のきずなプロジェクト
ポケット・ガーデン	オーガニック・エディブル・コミュニティガーデン多摩	東京都 多摩市	恵泉女学園大学 人間社会学部 社会園芸学科
ポケット・ガーデン	まち・里・ひとが繋がる♪ 梅檀野コミュニティガーデン	富山県 砺波市	自治振興会
ポケット・ガーデン	地域に拓けた「屋根緑化」と「空中アート」で共生環境へ！	長野県 北佐久郡	株式会社 チャレンジドジャパン
ポケット・ガーデン	数世代の人々が憩う中で子供を育てる聖隷の森づくり	静岡県 浜松市	聖隷クリストファー大学附属 クリストファーこども園
ポケット・ガーデン	僕たちの発信緑！～郵便局から緑の風をお届けします～	京都府 南丹市	京都府立農芸高等学校

3) 屋上・壁面緑化技術コンクール

建築物等の屋上や壁面、人工地盤などの特殊空間における緑化技術の普及推進による都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、優れた緑化技術を用いて、ヒートアイランド現象の緩和、省資源・省エネルギーの推進、生物多様性の確保といった都市環境の改善やみどりを活用した新たな空間の創出を実現した作品を顕彰している。今回も応募作品の面積が 300 m²以下の「小規模空間の緑化」をテーマとする特定テーマ部門を実施した。

第 19 回「屋上・壁面緑化技術コンクール」は、審査委員会（令和 2 年 9 月 15 日（火）開催。委員長：山田 宏之 大阪府立大学大学院教授）を経て、以下の 6 件が受賞した。

第 19 回屋上・壁面緑化技術コンクール 受賞者一覧

賞	部門	受賞者
国土交通大臣賞	屋上緑化	早稲田大学 37 号館早稲田アリーナ（東京都新宿区） 株式会社山下設計/清水建設株式会社/設計組織プレイスメディア/イビデングリーンテック株式会社/学校法人早稲田大学キャンパス企画部
環境大臣賞	壁面・ 特殊緑化	横浜北幸ビル（神奈川県横浜市） 東神開発株式会社/東急不動産株式会社/中村拓志&NAP 建築設計事務所/株式会社東急設計コンサルタント/西松建設株式会社/株式会社石勝エクステリア
日本経済 新聞社賞	壁面・ 特殊緑化	HAMACHO HOTEL & APARTMENTS（東京都中央区） 安田不動産株式会社/株式会社松田平田設計/UDS 株式会社/the range design INC./AOYAMA NOMURA DESIGN + 株式会社乃村工藝社/SOLSO/株式会社イケガミ
都市緑化機構 会長賞	屋上緑化	東京医科大学病院（東京都新宿区） 学校法人東京医科大学/株式会社大林組
	壁面・ 特殊緑化	ESR 市川ディストリビューションセンター（千葉県市川市） ESR 株式会社/渡辺美緒デザイン事務所合同会社
奨励賞	特定テーマ	裾野市立鈴木図書館 風の広場 屋上花壇（静岡県裾野市） 裾野市環境緑花事業協同組合

4) 都市の緑三賞表彰式の開催

「緑の都市賞」、「緑の環境プラン大賞」、「屋上・壁面緑化技術コンクール」の受賞団体を表彰する、[みどりの『わ』交流のつどいー都市の緑三賞表彰式ー]の開催は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため見送りとし、表彰については、各受賞者の意向を確認したうえで表彰状及び副賞を現地にお届けし、個別に贈呈式等を行った。

(2) 花王・みんなの森づくり活動助成

次世代にみどり豊かな環境を引き継ぐとともに、みどりとのふれあいを通して、子どもたちの心身の健やかな成長を図ることを目的として、身近な緑を守り、育てる活動と、子どもたちがみどりとふれあう機会を創出する活動に取り組む市民団体の支援を花王株式会社との共催により実施している。

令和2年度は、平成29年、平成30年、令和元年に助成対象となった計51団体に対し活動助成を行った（1団体あたり初年度、2年目50万円、3年目25万円）。

また令和2年度に20周年を迎え、これまでに助成を行った団体間の交流と情報交換を目的に活動報告会（ウェブ会議方式）を以下のとおり開催した。

第1回 花王みんなの森づくり活動報告会

日 時 令和3年2月24日（水）14:00～16:05

開催方法 ウェブ会議

- 参加団体
- ・特定非営利活動法人こころの森（宮城県石巻市）
 - ・特定非営利活動法人公益のふるさと創り鶴岡（山形県鶴岡市）
 - ・特定非営利活動法人花と観音の里（滋賀県長浜市）
 - ・あかゆらぬ花会（沖縄県南城市）
 - ・結城里山の会（茨城県結城市）
 - ・公益財団法人グリーントラストうつのみや（栃木県宇都宮市）
 - ・春日山原始林を未来へつなぐ会（奈良県奈良市）
 - ・学校法人いづな学園グリーン・ヒルズ小学校、
グリーン・ヒルズ中学校（長野県長野市）
 - ・ママの元気の応援団 mama+（静岡県袋井市）
 - ・保久良夢ひろば利用者ネットワーク（兵庫県神戸市）
 - ・社会福祉法人せるふねっと21学童クラブピッコロ第一
（熊本県玉名市）

第2回 花王みんなの森づくり活動報告会

日 時 令和3年2月27日（土）14:00～15:45

開催方法 ウェブ会議

- 参加団体
- ・特定非営利活動法人三角沼の会（秋田県秋田市）
 - ・NPO法人北本雑木林の会（埼玉県北本市）
 - ・「鹿野の風」プロジェクト（山口県周南市）
 - ・山崎町町内会（群馬県藤岡市）
 - ・石原林道協議会（愛知県岡崎市）
 - ・特定非営利活動法人ワトワーズ多聞台（兵庫県神戸市）
 - ・NPO法人森林デザイン研究所（千葉県富津市）

- ・みどりのまちづくりグループ（愛知県春日井市）
- ・特定非営利活動法人珊瑚舎スコーレ（沖縄県南城市）

なお、本事業が令和2年度に創設20周年を迎えるにあたり、令和元年度から事業内容等の見直しに関する協賛企業との協議を開始し、継続中により、令和2年度の新規募集は見送ることとした。

（3）全国花のまちづくりコンクール

花のまちづくりを普及させるため、花のまちづくりコンクール推進協議会（公益財団法人日本花の会、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、一般財団法人日本花普及センター、公益財団法人都市緑化機構により構成）の主催により、花によるまちづくりの優れた取り組みを顕彰している。

第30回「全国花のまちづくりコンクール」は、審査委員会（令和2年7月29日（水）、9月3日（木）に開催。委員長：齋藤 京子 一般社団法人家の光協会理事）を経て、以下の101件が受賞した。

第30回「全国花のまちづくりコンクール」 受賞者一覧

賞	部門	受賞者	
花のまちづくり大賞	国土交通大臣賞	団体	市民協働「熊谷の力」小江川地区1000本桜事業（埼玉県熊谷市）
		個人	鈴木 良枝・勝義（静岡県袋井市）
	農林水産大臣賞	企業	株式会社平井料理システム「仏生山の森」（香川県高松市）
		個人	井上 善人（兵庫県淡路市）
	文部科学大臣賞	団体	社会福祉法人浄英会 恵和こども園（新潟県長岡市）
		個人	
花のまちづくり優秀賞	花のまちづくりコンクール推進協議会長賞	団体	浦戸諸島「海と花の物語」（宮城県塩竈市）
		団体	大湯「パンジーの会」（秋田県鹿角市）
		団体	東海村立白方小学校（茨城県東海村）
		団体	赤羽緑地を守る会（茨城県日立市）
		団体	袋井市花の会（静岡県袋井市）
		団体	つりがねにんじんクラブ（静岡県三島市）
		団体	新川姫蛸と花を守る会（大阪府高槻市）
		個人	益田 満智子（静岡県吉田町）

賞		部門	受賞者
花のまちづくり優秀賞	花のまちづくりコンクール 推進協議会長賞	個人	中谷 邦子（兵庫県豊岡市）
		個人	寺尾 康男・桂子（兵庫県朝来市）
		個人	松浦 さつき・千春（兵庫県たつの市）

- ・花のまちづくり奨励賞 花のまちづくりコンクール審査委員会賞 [14件]
- ・花のまちづくり入選 [67件]
- ・花のまちづくり努力賞 [4件]

（４）ユニバーサルデザイン施設等普及事業

都市公園等を誰もが支障なく共に利用でき、利用者や地域住民への潤いと安らぎを与えることを目的として、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により、優れた機能を有するユニバーサルデザイン施設等を地方公共団体等への提供を行っている。

令和２年度は、以下 29 団体に対し、テーブル・ベンチセット、水飲み場、高齢者対応ベンチ等のユニバーサルデザイン施設計 51 基を提供した。

都道府県 : 茨城県、群馬県、新潟県、石川県、兵庫県

政令市 : 仙台市、川崎市、千葉市、名古屋市、神戸市、堺市、福岡市、熊本市

その他市町村 : 八戸市、前橋市、足利市、長野市、射水市、焼津市、湖西市、大津市、橿原市、福山市、三原市、東広島市、小布施町（長野県）、八千代町（茨城県）、境町（茨城県）

公園関係団体 : 大津市公園緑地協会

（５）まちニワ創出活動助成

公益目的事業の追加認定（令和元年 9 月）を受けて、事業の実施に向けた具体の企画の検討を行った。

（６）その他の助成

東日本大震災等激甚災害の被災地において、仮設住宅や災害公営住宅等の居住環境を改善し、居住者の方々に対し植物を通じて精神的側面から支援することや、街なかでの花やみどりによる景観形成を目的として、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により地方公共団体へ花苗とプランターの提供を行っている。

令和２年度は、以下 9 団体に対し、仮設住宅や災害公営住宅、公民館、公園等に計 320 基を提供した。

青森県 : 弘前市、八戸市

岩手県 : 陸前高田市、山田町

宮城県：仙台市、石巻市、気仙沼市
千葉県：市原市
岡山県：井原市

3 都市緑化に関する調査、研究、技術の開発及びこれらの成果の普及

都市環境の改善やみどり豊かな都市の実現を図るため、令和2年度において、共同研究、受託研究等の方法により、以下に係る調査、研究等を行った。

(1) 都市緑化による環境の創造、改善に関する調査、研究及び技術開発

1) 共同調査研究

① 公園緑地における防災技術に関する調査研究

防災公園技術ハンドブックの改訂版発行（令和3年度発刊予定）に向けた検討作業を引続き進めた。また最新の防災公園の整備事例に関する視察、ヒアリングや、コロナ渦における新しい日常としての防災公園のありかたについて検討を行った。

② ユニバーサルデザインに関する調査研究

障がい当事者とともに都市公園・交通機関を利用しながらアクセシビリティの研究、障がいの有無に関わらず公園の魅力を満喫する方法を研究する事業（公園を歩こう）の実施、従来のユニバーサルデザインの視点に「訪れる全ての子どもが同じように楽しく遊べる」という視点を強化したインクルーシブ公園・インクルーシブ遊具についての情報交換、視察等を行った。

③ 都市環境の保全、育成、創造に関する調査研究

コロナ禍における公園や緑地の維持管理や利用のされ方に関するヒアリング、グリーンインフラの普及に向けた検討等を実施し、これからの時代におけるみどりによる都市環境の保全・育成及び魅力ある都市環境の創造を目的とした事業活動並びにその健全な経営管理手法に関しての調査研究及び技術開発について、大学、事業者等が共同で調査し、その有効な手法等の検討を行った。

2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・都市緑化等による温室効果ガス吸収源対策等の推進等に関する調査
- ・土地利用変化による土壌炭素の変動量評価と国家インベントリへの適用に関する研究：開発地に関する土地利用変化に伴う土壌炭素蓄積変化の解明
- ・URにおける自然環境が有する多様な機能を活用した取組方針案策定等業務

(2) 都市における新たな緑化空間の創出に関する調査、研究及び技術開発

1) 共同調査研究

① 特殊空間緑化に関する調査研究

特殊緑化技術に関する研究活動及び本研究参加者の研究活動への理解を深めるため研修会（ウェビナー形式）を開催した。また、屋上緑化に関連する技術、基礎的な理解のための技術冊子として、屋上緑化防水手引き小冊子の編集を行った。

第1回 特殊緑化共同研究会技術研修会

日 時 令和2年8月25日（火）15:00～17:00

開催方法 ウェビナー方式

講 演 この地球に土と森とヒトが生まれるまで

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
主任研究員 藤井 一至

第2回 特殊緑化共同研究会技術研修会

日 時 令和3年2月18日（木）14:30～16:30

開催方法 ウェビナー方式

講 演 緑化樹木の耐風性評価—構造力学の観点から

元北海道大学農学研究院森林科学分野教授 小泉 章夫

緑化技術開発として「高木植栽時の耐風性に関する一連の研究開発」、
「通年における土壌厚別雨水貯留測定試験」、「屋上緑化雨水貯留流出遅延
に関する手引き書の検討」、「つる植物登はん抑制試験」、「屋上緑化防水
リニューアル工検討プロジェクト」を実施した。また、新型コロナウイルス
感染症に対する感染防止技術の需要の高まりを踏まえ、みどりを活用しつつ、
プロジェクタースクリーンやホワイトボード等にも利用できるパーテーショ
ンであるマルチグリーンパーテーションの製作を実施した。

2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・緑化施設等による都市の暑熱対策に関する実証調査
- ・民間活力を生かした緑地活用・管理手法検討業務

(3) 都市における緑化を推進するための植栽植物の育成、管理に関する調査、研究及び技術開発

1) 共同調査研究

① グランドカバー・ガーデニングに関する調査研究

緑の価値をテーマに、コロナ禍において、家庭菜園やガーデニングによる園芸植物の需要が増えていることから、ホームセンターや園芸店などで広く流通している植物のうち、環境省が公表している「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」に掲載されている注意事項に関連し、市民がガーデニングにおいて利用する際の留意点の検討を行った。

2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・新横浜公園周辺における緑化による暑熱緩和対策 2020 年度緑化施設の維持管理・点検、調査、業務管理作業
- ・笠山樺群生林保全に向けた現況調査委託事業

(4) 国・地方公共団体による都市緑化、企業による緑地創出、市民・企業参加の花と緑のまちづくり等の推進に関する調査及び研究

1) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・令和2年度海外における日本庭園保全再生方策検討調査
- ・ガーデンツーリズムの効果的な普及促進及び支援手法検討調査
- ・全国都市緑化かわさきフェア（仮称）基本構想策定支援業務委託
- ・海外からのニーズを踏まえた日本の造園・緑化技術の今後のあり方に関する調査
- ・ドーハ国際園芸博覧会出展調査
- ・全国都市緑化北海道フェア（仮称）基本計画案作成に関わる業務
- ・全国都市緑化仙台フェア基本構想策定に係る支援業務
- ・2027年国際園芸博覧会の開催に係る都市公園整備のあり方等に関する調査

(5) 都市緑化フォーラム 2020

都市緑化フォーラム 2020 は、年度内の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止と各共同研究会の構成員の繁忙期を避ける観点から、令和3年5月の開催とした。

都市緑化に関する調査、研究、技術開発については、日本国内だけでなく海外も対象に行ったところであり、特に 2027 年に横浜市において開催が予定されている国際園芸博覧会を踏まえ、海外において今後開催される国際園芸博覧会における日本の緑化技術等の情報発信に関する調査、研究を継続して実施した。

4 都市緑化に関する評価

(1) 社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）による評価

緑をまもり育てる活動を通じて社会や環境に貢献している企業の緑地を対象に、特に優れた取組みを評価・認定する事業を実施した。

1) そだてる緑部門

民間が所有する土地で緑地の保全・創出活動に取り組んでいる企業等の取組みを認定する「そだてる緑」部門について、新規審査 3 件（表中◎）、維持審査 16 件を実施した。

なお、令和 2 年度に予定していた更新審査は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見送り、更新審査対象となる 5 件のうち 3 件は有効期限を延長、2 件については維持審査を実施した（令和 2 年度末現在の認定数は 28 件。認定後は更新審査（3 年ごと、現地審査）と維持審査（毎年、書類審査）を実施）。

また「緑の殿堂」の授与は該当なしであった（令和 2 年度末現在の「緑の殿堂」認定数は 7 件（表中◆印）。認定後は更新審査（5 年ごと、現地審査）を実施）。

■そだてる緑部門 令和 2 年度認定緑地一覧

認定企業・緑地名	所在地	認定年度
◆三井住友海上火災保険株式会社 駿河台の緑地と ECCOM 駿河台	東京都千代田区	2005
◆トヨタ自動車株式会社 トヨタの森	愛知県豊田市	2005
◆アサヒビール株式会社 神奈川工場	神奈川県南足柄市	2005
◆ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 幸田サイト	愛知県額田郡	2005
花王株式会社 和歌山工場	和歌山県和歌山市	2005
◆富士通株式会社 沼津工場	静岡県沼津市	2006
◆ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 大分テクノロジーセンター 国東サテライト	大分県国東市	2007

認定企業・緑地名	所在地	認定 年度
株式会社グリーン・ワイズ 本社事業所（有効期限延長）	東京都多摩市	2008
◆サンデンホールディング株式会社 サンデンフォレスト	群馬県前橋市	2008
西武鉄道株式会社 「飯能・西武の森」	埼玉県飯能市	2008
立正大学 熊谷キャンパス	埼玉県熊谷市	2008
出光興産株式会社 北海道製油所	北海道苫小牧市	2010
出光興産株式会社 愛知製油所	愛知県知多市	2010
日産自動車株式会社 日産テクニカルセンター／日産先進技術 開発センター（有効期限延長）	神奈川県厚木市	2011
ダイキン工業株式会社 ダイキンアレス青谷	鳥取県鳥取市	2011
株式会社ディスコ 広島事業所 桑畑工場	広島県呉市	2012
株式会社晴海コーポレーション 晴海アイランドトリトンスク エア	東京都中央区	2014
YKK 株式会社 黒部事業所 YKK センターパーク	富山県黒部市	2016
株式会社ディスコ 長野事業所 茅野工場	長野県茅野市	2017
日本電信電話株式会社 NTT 武蔵野研究開発センタ	東京都武蔵野市	2017
旭化成株式会社／旭化成ホームズ株式会社 あさひ・いのちの森	静岡県富士市	2017
日本電信電話株式会社 NTT 横須賀研究開発センタ	神奈川県横須賀市	2018
三菱電機株式会社 受配電システム製作所（有効期限延長）	香川県丸亀市	2018
医療法人社団中郷会 新柏クリニック めぐりの庭	千葉県柏市	2019
佐川急便株式会社 佐川急便「高尾 100 年の森」	東京都八王子市	2019
◎首都高速道路株式会社 おおはしりの杜（大橋換気所）	東京都目黒区	2020
◎ローム株式会社 「森の中の本社工場」	京都府京都市	2021
◎独立行政法人都市再生機構 UR 賃貸住宅 常盤平団地	千葉県松戸市	2021

2) つくる緑部門

都市開発・建築行為の計画に関し、良好な緑空間を創出し、社会・環境に貢献する緑の計画であることを認定する「つくる緑」部門について、令和2年度は以下の1件を新たに認定した。

■つくる緑部門 令和2年度認定緑地一覧

認定緑地名	事業者名	所在地
大手町二丁目常盤橋地区 第一種市街地再開発事業 (A棟) (現：TOKYO TOACH 常盤橋タワー)	三菱地所株式会社/株式会社三菱地所設計/戸田建設株式会社	東京都千代田区

3) 都市のオアシス部門

公開性・安全性・環境への配慮等の基準を満たす民間事業者所有の緑地を認定する「都市のオアシス」部門について、令和2年度は以下の1件を新たに認定した(令和2年度末の認定数は54件、認定後は更新審査(3年ごと、現地審査)を実施)。

■都市のオアシス部門 令和2年度新規認定緑地一覧

認定緑地名	事業者名	所在地
BRANCH 大津京	大和リース株式会社	滋賀県大津市

(2) 都市緑化技術審査証明事業による評価

都市緑化技術の審査・証明は、民間企業等において開発された新技術の有効性を審査、証明し、国や地方公共団体に情報提供することにより、新技術の活用を促進し、都市の緑化に係わる公共工事の質の向上や効率的な運用等に寄与することを目的としており、令和2年度はその周知・広報等を実施した。

5 都市緑化に関する人材の育成、情報の収集及び発信、国際協力等

(1) 調査研究活動への支援

大学院生等の若手研究者による都市緑化に関する調査、研究及び技術開発を奨励するため、優れた研究テーマに対して助成を行うことにより、次世代を担う若手研究者の育成を図っている。

令和2年度は、以下の研究機関に所属している5名の若手研究者の調査研究活動に対して、総額50万円の支援を行った。なお、本事業の研究成果は機関誌「都市緑化技術」において発表を行った。

所属研究機関	氏名	研究テーマ
高知大学大学院 総合人間自然科学研究科 農学専攻 修士課程2年	嘉瀬井 祥太	都市環境における建築物壁面を活用した植物栽培空間の創出
東京農業大学大学院 農学研究科 造園学専攻 修士課程1年	呉 京樺	旧尾辻国吉邸（劉真教長故居）庭園の修復に関する研究
京都大学大学院 農学研究科 森林科学専攻 博士課程2年	崔 麗華	日本庭園の熱環境緩和機能に関する研究
兵庫県立大学 環境人間学研究科 共生博物部門 博士前期課程2年	胡 清清	神戸市都心再整備事業におけるメインストリートの緑化空間の構成に関する研究
大阪大学大学院 工学研究科 環境エネルギー工学専攻 修士課程2年	高尾 尚宏	都市緑化の評価・認定制度が緑地の質の向上に与える影響

（２）都市緑化技術研修会の開催

都市のみどりに関わる実務者や技術者の能力向上、都市緑化技術に関する情報の提供及び技術の普及等を目的として、以下のとおり都市緑化技術研修会（ウェビナー方式）を開催した。

日 時 令和3年1月21日（木）10:30～17:00

開催方法 ウェビナー方式

参加者 63人

テーマ 「with コロナの中でのみどりの役割」

- 講 義・with コロナ/after コロナにおける「みどり」とグリーン・エコライフ
 福井県立大学学長/東京農業大学名誉教授・元学長 進士 五十八
- ・with/アフターコロナの公園緑地とグリーンインフラ
 国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室
 国際緑地環境対策官 小酒井 淑乃
- ・感染症対策、公衆衛生とオープンスペースの関係
 内科医師・奈良学園大学保健医療学部 客員教授
 兵庫県立淡路景観園芸学校 非常勤講師 平野（竹村） 文男
- ・農コンテンツを活かしたコロナ禍での取組とその効果
 株式会社アグリメディア 代表取締役社長 諸藤 貴志
- ・アフターコロナを見据えたこれからの屋外パブリックスペース
 日本大学理工学部建築学科 助教
 一般社団法人ソトノバ共同代表理事・編集長 泉山 墨威

（３）機関誌の発行

優れた緑化の取り組み事例や都市緑化技術等に関する最新情報の発信及び調査研究成果の発表等を内容とする機関誌「都市緑化技術」を発行している。

令和2年度は以下のとおり発行し、全国の造園・環境系の学部等を有する大学、図書館などの多くの閲覧が見込まれる機関・施設等に配布した。

No. 112 「オリンピック・パラリンピックと都市緑化」

No. 113 「ICTの活用と都市緑化」～with コロナ、after コロナ時代の緑～」

発行部数（各号） 2,000部

配布箇所数（各号） 1,000箇所

（4）植樹保険制度の活用支援

植樹保険の団体保険契約者として、公共植栽工事において枯損した樹木等の植替えが円滑かつ速やかに行われるよう、植栽工事請負者に対する制度の活用支援を行っている。令和2年度における植樹保険の付保件数は、317件であった。

6 その他

（1）訪問学習等への対応

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、訪問学習等の申し込みはなかった。

（2）都市緑化の活動を推進するための募金活動

令和2年度は、ホームページ等でのPRにより寄付の拡大に努めた。なお、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、募金活動等の実施は自粛した。

（3）都市緑化基金等連絡協議会等への協力

都市緑化基金等連絡協議会（会員数55団体）の活動に事務局として協力した。

7 会議の開催

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

（1）理事会

- ・令和2年6月3日（水） 決議の省略による理事会
議案 令和元年度事業報告及び収支決算（案）について
定時評議員会の開催について
- ・令和2年10月20日（木） 第25回臨時理事会
議案 規程等の改正及び制定について
重要な使用人の選任について
報告事項 会長、理事長及び専務理事の職務執行状況報告について
資産の運用状況について

都市の緑三表彰の受賞団体について

- ・ 令和3年3月12日（金） 第26回通常理事会
議 案 令和3年度事業計画及び収支予算について
令和3年度資産運用方針について
規程の新規制定及び一部改正について
報告事項 会長、理事長及び専務理事の職務執行状況報告について

（2）評議員会

- ・ 令和2年6月18日（木） 第8回定時評議員会
議 案 令和元年度収支決算（案）について
理事の補欠選任について
「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」の改正について
報告事項 令和元年度事業報告について
令和2年度事業計画及び収支予算について
資産の運用について

8 評議員、理事、監事の異動

（1）評議員

令和2年6月21日付け
死亡 丸田 頼一

（2）理事

令和2年6月18日付け
就任 大嶋 聡
就任 田古島 伸浩

（3）監事

なし

※令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。